

開星中学・高等学校 公開教育研究会

令和3年度研究テーマ

深い思考を促す授業づくり

～本質的な「問い」のある授業の開発・協働学習20%ルール～

10月19日 火

会場 開星中学・高等学校

12:40~13:00 受付

13:10~14:00 研究授業・
研究発表

授業A 総合探究「SDGsをテーマとしたグループ研究」

授業B 中学探究「松江学発表会」

研究発表A 「課題研究II研究発表 生徒の事例を中心に」

研究発表B 「開星『課題研究』の変遷を9年間の事例をもとに検証する。」

14:10~15:00 研究協議

授業や研究発表について指導主事の先生を交えて
意見交換を行います。

第1会場 授業A 総合探究 【指導助言者】岡本尚也氏(一般社団法人GlocalAcademy理事長)

第2会場 授業B 中学探究 【指導助言者】高橋泰道氏(島根県立大学教授)

第3会場 研究発表A 課題研究II 【指導助言者】古賀洋一氏(島根県立大学准教授)

第4会場 研究発表B 課題探究A 【指導助言者】松本一郎氏(島根大学教授)

15:15~16:45 記念講演

岡本 尚也 氏

演題「学校全体で取り組む探究活動の意義と方法」

記念講演講師

講師 岡本 尚也 一般社団法人GlocalAcademy 理事長 物理学博士

演題 「学校全体で取り組む探究活動の意義と方法」

1984年、鹿児島県に生まれる。慶應義塾大学理工学部卒、同理工学研究科修了後、ケンブリッジ大学で物理学博士号を取得。さらに、オックスフォード大学にて日本学修士号を取得。ケンブリッジ大学在学中の研究成果をまとめた論文がNatureMaterialsなど、世界のトップジャーナルに掲載される。帰国後、後進の育成や、社会や学術における諸課題に取り組む個人および団体を支援する一般社団法人GlocalAcademy代表理事。文部科学省事業や経済産業省の教育イノベーション委員会の委員を務めながら全国のSGHやSSHの課題研究指導・教育プログラム作成等の支援、大学や企業の支援も行っている。2016年には啓林館より『課題研究メソッドより良い探究活動のために』を出版。



定員 50名

お申し込み

WEBサイトよりお申し込みください。

<https://forms.gle/hwag2AQwKCK8GfgS8>



開星中学校・高等学校

〒690-0017 島根県松江市西津田9-11-1 TEL 0852-21-4915

MAIL hiro-kurakake@kaisei.matsue.shimen.jp 【担当】研究開発部長 倉掛裕喜

深い思考を促す授業づくり

～本質的な「問い」のある授業の開発・協働学習20%ルール～

公開授業・研究発表の内容

授業A 総合探究「SDGsからみる、わたしたちがつくる未来」

【授業者】豊田啓司(社会)・山下真史(数学)・井上哲夫(体育)・春日千歩(国語)

【対象】高校3年生

今年度はSDGsをテーマとしたグループ研究を行ってきました。自分たちの研究発表を終えた後に深い思考を促すための振り返りとはいったいどういうものなのかを模索する授業です。

授業B 中学探究「松江学発表会」

【授業者】三島邦彦(理科)・落部由紀子(数学)

【対象】中学2年生

昨年度はプロブレムベースドラーニングを意識した探究スキルを学びました。今年度は、地元松江の魅力や課題を取り上げ、探究したものを発表します。

研究発表A 「課題研究II研究発表 生徒の事例を中心に」

【発表者】矢頭香織(国語)

【対象】高校3年生

生徒たちは、高校2年次にテーマ発表・中間発表と一次論文執筆を行いました。高校3年次には、最終論文としてまとめ、口頭発表形式で全員が聴衆の前で発表します。

今後、直面するいかなる課題にも、主体的に取り組むことができる人材の育成を目的とする授業の2年間の取り組みを文系の生徒の事例を中心に発表します。

研究発表B 「開星『課題研究』の変遷を9年間の事例をもとに検証する。」

【発表者】田中薫(理科)

【対象】高校2年生

開星に「課題研究」の授業ができて9年目を迎えました。この間、数々の改革を行ってきました。

この改革の変遷を、その根拠となった(主に)失敗事例をもとに振り返ります。

課題研究に取り組む多くの学校にとって有意義な情報共有になると思います。

定員

50名

お申し込み

WEBサイトよりお申し込みください。

<https://forms.gle/hwag2AQwKCK8GfgS8>

